

教 科 商 業 科 目 ビジネス基礎

授業科目	ビジネス基礎	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 1 年 ICT 科	コース			
教科書	ビジネス基礎（実教出版）		副教材	ビジネスマナー@カレッジ (英光社)	
授業概要	高校で学ぶ商業科目の基礎となる科目として、ビジネスの役割を理解し、ビジネスに対する心構えを習得する。また、売買取引についての基礎を理解し、さまざまな代金決済方法を習得する。コンピュータを利用したビジネス情報活用、コミュニケーション能力を身につける。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材
	1 学 期	売買取引と代金決済	小切手・手形等の仕組みなどの基礎的な知識の習得。 売買に関する計算。		教科書
		流通活動と企業	株式会社や本支店、親会社子会社などの知識の習得。 株式や有価証券・社債等。		教科書
	2 学 期	企業活動の基礎	企業の資金調達・税・雇用などの基礎を学ぶ。 ビジネスと売買取引について学ぶ。		教科書
	3 学 期	売買に関する計算と ビジネスとコミュニケーション	売買に関する計算方法を習得。 ビジネスマナーを習得。 ビジネスにおける情報の活用を理解。		教科書 副教材

教 科 商 業

科 目 原価計算

授業科目	原価計算		単位数	4 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 1 年 ICT 科		コース			
教科書	簿記テキスト （立志舎） 工業簿記テキスト （立志舎）			副教材	簿記問題集 （立志舎） 各検定問題集 （立志舎）	
授業概要	製造業を営む工企業の簿記であることを理解し、商業簿記との違いを確認する。多くの原価計算制度についてその特性を学び、製造原価・月末仕掛品の把握をする。さらに原価管理に有効な標準原価計算や短期利益計画に適した直接原価計算について学ぶ。					
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材	
	1 学 期	工業簿記の基礎	商業簿記と工業簿記の違いを理解する。原価の概念と分類を把握し、勘定の流れ、製品販売から月次決算、年次決算までの流れを理解する。		テキスト 問題集	
		費目別計算	材料費・労務費・経費勘定の種類や直接費・間接費の分類・仕掛品・製造間接費勘定の会計処理について理解する。		テキスト 問題集	
		個別原価計算	製造指図別の製造原価を算定する。			
		直接原価計算	短期利益計画に有効な原価計算であることを理解し、損益計算書の作成方法を学ぶ。			
	2 学 期	標準原価計算	原価管理を有効に行う原価計算であることを理解し、勘定記入方法について学ぶ。		問題集 模擬問題 過去問題	
		総合原価計算	単純・組別・工程別・等級別総合原価計算の製造原価・月末仕掛品原価の算定をする。			
	3 学 期	原価予測	企業経営においての必要性を理解し、高低点法について学ぶ。		問題集 過去問題	
		本社工場会計	本社と工場それぞれの記帳範囲から本社勘定・工場勘定の仕分まで理解する。			

教 科 商 業 科 目 情 報 処 理

授業科目	情報処理		単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 1 年 I C T 科		コース	全コース		
教科書	情報処理（実教出版）			副教材	表計算問題集 （日本情報処理検定協会） 日本語ワープロ問題集 （日本情報処理検定協会） 電子会計テキスト（実教出版）	
授業概要	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。					
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材	
	1 学期	企業活動と情報処理	情報処理の重要性、情報モラルについて学ぶ。ワープロの速度やビジネス文書に関する知識についての学習をする。		情報処理教科書	
		コンピュータシステムと情報デザイン	ネットワーク接続、イントラネットの基礎的な設定方法等を学習する。「Excel」の関数を学び、表計算ソフトの知識を習得する。		情報処理教科書	
	2 学期	情報の集計と分析	表計算ソフトを使用し、データの集計と分析の知識を学ぶ。		表計算問題集	
		ビジネス文書の作成	「Word」を使用して文書作成の技術を学び、幅広い文書を作れるようにする。		日本語ワープロ問題集	
	3 学期	プレゼンテーション	プレゼンテーションを行う際の話の構成、話し方、画像と音声の活用などプレゼンテーションソフトウェアを活用する。		情報処理教科書	
		電子会計	勘定奉行を利用しての会計処理を理解し、仕訳から財務諸表の作成までの流れを学ぶ。		電子会計テキスト	

教 科 商 業

科 目 簿 記

授業科目	簿記	単位数	4 単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校 1 年 ICT 科	コース			
教科書	商業簿記テキスト（立志舎）		副教材	商業簿記問題集（立志舎） 各簿記検定問題集（立志舎）	
授業概要	簿記の目的とルールを理解し、個人商店における簿記の仕組みについて学習する。 株式会社会計についての会計処理を学習する。 本支店会計や連結会計等に取り組み、理解する。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材
	1 学 期	簿記の基礎	簿記の目的とルールを理解する。個人商店における経営活動と取引内容（仕訳）の理解を目指す。		テキスト 問題集
		取引と仕訳	現金預金・商品売買・手形・有価証券・債権債務・固定資産・資本金・収益・費用の仕訳の正確な会計処理を目指す。		
		損益計算書 貸借対照表 帳簿組織	取引から決算処理、財務諸表作成までの手順の理解を目指す。主要簿・補助簿・財務諸表を正確に作成する。		テキスト 問題集
	2 学 期	株式会社会計	株式会社の創立から純利益の計上、株主総会での利益処分までの処理方法を理解する。		テキスト 問題集 過去問題
		連結会計	連結会計における目的や、消去振替仕訳、未実現損益の消去仕訳等会計処理を理解する。		
		その他取引	銀行勘定調整表・株主資本等変動計算書・リース取引・外貨換算会計・などの会計処理について理解する。		
	3 学 期	本支店会計	本支店間の取引・合併財務諸表の作成をする。		問題集 過去問題
		税効果会計	法人税等の利益に対して課される税金の期間配分の意味と会計処理について理解する。		
製造業会計		製造業を営む会社の決算処理を理解し、正確な財務諸表を作成する			

教科 国語

科目 国語総合

授業科目	国語(国語総合)		単位数	4 単位	履修形態	必修
履修学年	高校 1 年		コース	I C T 科		
教科書	新編 国語総合 改訂版(大修館書店)			副教材	学習課題ノート、ことのは、(スタディーサプリ)	
授業概要	生徒たちが社会で強く生き抜いていくために、自国の言語や文化を正しく理解し、自らの価値観を高めていく。そして、自分の生きる社会と文章の内容がどのように結びついているのかを考える。 また、筆者が文章全体を通じて表現したいことを正しく理解する。					
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材	
	1 学 期	感動する心 (現)	筆者のものの見方や感じ方を理解するとともに、「センス・オブ・ワンダー」を心に持つことの大切さを理解する。筆者の主張を読み取り、感受性を豊かにし感動する心を育むことの大切さを理解する。		・ワンダフル・プラネット！	
		日本語を考える (現)	言葉と身体感覚に密接な関係があることを理解するとともに、日本語の特質や特殊性について知り知識を深める		・人生は「動詞」で変わる	
		小説を味わう (現)	小説に描かれた話の展開を、時間の経過に沿って捉える。また、登場人物の心理を読み取り、自分とは異なる時代や状況に置かれた人生を追体験する。		・羅生門	
		小説を楽しむ (現)	現代小説を読み、登場人物の心理変化を味わい、読書への意欲を高める、小説の感想を書き、読みの交流を図る。		・バスに乗って	
		古文に親しむ (古)	古文を読む意義を理解し、古文や古文に描かれた世界に関心を持つ。また、音読を繰り返すことで古文に慣れ、古文と現代文の違いを理解し、基礎を身につける。		・古典の魅力・児のそら寝 ・阿蘇の史、盗人にあひての がること	
	2 学 期	社会に生きる (現)	筆者の考えを叙述に則して的確に読み取り、働くことについての理解を深める。		・何のために「働く」のか	
		日本語を考える (現)	漢字の特色および、過日本語における漢字の働きを知るとともに、漢字を身につける大切さを理解する。(漢字検定で目標の級に合格できるよう、模擬問題に取り組む)		・漢字の性格 ・漢字検定	
		文化とことば (現)	文章の論の進め方の特色をつかむとともに、日本文化に対する関心をもつ。		・季節の言葉と出会う ・水の東西	
		自然に目をむけて (現)	筆者の考えを、叙述に即して的確に読み取り、自然に対する関心を広げる。		・生きることと食べるものの 意味	
		漢文のとびら (漢)	漢文を学ぶ意義や文語のきまり、訓読のきまりなどを理解する。また、文章を読んで、ものの見方、考え方を広げたり深めたりする。		・訓読のきまり ・故事成語	
		表現	作文と小論文の違いを理解し、小論文を書くプロセスを身につける。小論文講習や小論文添削を通じて様々な形式の問題に取り組む。		・小論文チャレンジノート ・講師による講習・添削	
	3 学 期	詩歌との出会い (現)	作品にうたわれている情景や心情を表現に則して読み味わい、鑑賞文を書く。		・はる・一つのメルヘン ・あどけない話・短歌、俳句	
		随筆の楽しみ (古)	随筆の文章表現の特色について理解する。また、両作品を通して自然や人間に対する作者の見方、感じ方、考え方を理解する。		・枕草子 ・徒然草	
		いのちと平和 (現)	叙述に即して文章の内容を的確に読み取り、人間のこころについての理解を深める。		・心が生まれた惑星	
		唐詩のしらべ (漢)	唐代の詩の名作に親しみ、作者の心情や描かれたオウ系を想像し味わう。		・春眠暁を覚えず・自然のうた・江雪・山行	
	通 年	基礎学力向上 スタディーサプリ	「ことのは」をもちいて語彙力を高める。 自分の苦手分野の分析と自学自習の週刊を確立する。		・ことのは ・スタディーサプリ	

教 科 社 会

科 目 世界史 A

授業科目	世界史 A	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 1 年	コース	ICT 科		
教科書	実教出版 新版世界史 A		副教材	ワーク・資料集	
授業概要	世界の歴史を諸資料に基づき、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、現代の諸課題を歴史的視点から考察し、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材
	1 学 期	第 1 章 ユーラシアの諸 文明と交流	自然環境・生活・民族・宗教・思想などに関する基本的知識を身に付け、それらに関する関心を高め、意欲的に追究し、考察・判断して、その過程や結果を適切に表現できるようにする。		
		第 2 章 一体化に向かう 世界と日本	世界の一体化の過程を理解し、知識を身に付け、この一体化の過程におけるヨーロッパの動向と日本などアジア諸国の対応について、考察・比較して、その過程や結果を適切に表現できるようにする。		
	2 学 期	第 3 章 ヨーロッパ・アメリカの諸革命と 世界の変動	16 世紀以降の世界商業の進展と産業革命後の資本主義の確立を中心に、世界の一体化の過程を理解し、知識を身に付け、この一体化の過程におけるヨーロッパの動向と日本などアジア諸国の対応について、考察・比較して、その過程や結果を適切に表現できるようにする。		
		第 4 章 現代世界の歩み	地球規模で一体化した現代世界の特質と展開過程に対する基本的知識を身に付け、人類の課題について考察・判断し、報告・判断できるようにする。		
	3 学 期	第 5 章 第 2 次世界大戦 後の世界	地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。		

教科…数学、科目…数学 I

授業科目	数学Ⅰ		単位数	3単位	履修形態	必修・選択
履修学年	1年ICT科		コース			
教科書	数学Ⅰ Advanced（東京書籍）			副教材	練習ドリル数Ⅰ（数研出版）	
授業概要	数学Ⅰでは、中学校数学で扱った内容を発展させたものとして、① 数と式、② 二次関数、③ 図形と計量、④ データの分析の4分野を扱います。 高等学校数学における基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な見方や考え方といった数学的素養を身に着けるようにします。					
授業内容		単元	目標		教材	
および 到達目標	一 学 期	数と式	(1) 式の展開や因数分解の公式の理解を深める (2) 数を分類・整理し、数の体系を身に着ける (3) 根号を含む四則演算ができるようにする (4) 不等式の解の意味と性質を理解する		ニュージャスト 練習ドリル	
		集合と論証	(1) 集合の表し方と要素について理解する (2) 部分集合、共通部分と和集合を理解する (3) 補集合とド・モルガンの法則を理解する (4) 命題と論証について理解する			
		データの分析	(1) データの整理と相対度数による計算ができる (2) 平均値・中央値・最頻値の意味を理解する (3) 四分位数、箱ひげ図とヒストグラムの対応ができる (4) データ分析の基本を理解する			
	二 学 期	2次関数	(1) 2次関数の式とグラフの形の関係を理解する (2) 2次関数のグラフと2次方程式の関係を理解する (3) 2次不等式の意味を考え、解けるようにする			
		図形と計量	(1) 正弦、余弦及び正接を直角三角形の辺の比と角の大きさとの間の関係として理解する (2) 0° ～180° の場合までの三角比の値を求められる (3) 三角比についての相互の関係を理解する			
	三 学 期	図形と計量	(4) 正弦定理、余弦定理を利用し、三角形の未知の辺や角の大きさを求められる (5) 三角比を利用して三角形の面積を求められる			
		データの分析	(1) 相関関係が調べられる			

教 科 理 科 目 科学と人間生活

授業科目	科学と人間生活		単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	1 年		コース	ICT 科		
教科書	第一学習社 科学と人間生活			副教材	第一学習社 ネオパルノート科学と人間生活	
授業概要	科学と人間生活で学習する内容が、身の回りでどのようなことに利用されているのか探求します。また、実験や ICT 教材を活用して、実感できる授業にします。					
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材	
	1 学 期	第 2 章 生命の科学	微生物は私たちの暮らしの中でどのような影響を及ぼしているのか理解する。		顕微鏡	
	2 学 期	第 1 章 物質の科学	三大栄養素の性質や構造を実験を通して理解する。		グルコース 豆腐 バター	
		第 3 章 光や熱の科学	光の性質や日常生活における光や電磁波の利用について理解する。		鏡	
	3 学 期	第 4 章 地球や宇宙の科学	天体のそれぞれの特徴を調べ、それぞれの歴史を学ぶ。		天球	

教科 外国語 科目 コミュニケーション英語 I

授業科目	コミュニケーション英語Ⅰ	単位数	4 単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校1年 ICT 科	コース			
教科書	WORLD TREKⅠ 総合英語 Evergreen		副教材	全商英検単語表・全商英検問題集・英検問題集 予習ノート・Evergreen23	
授業概要	問題演習を行い、自分で問題について説明することができる。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材
	1 学期	L1 A Smile Is the Best Greeting! L2 What Is School to You? L3 Soccer Uniforms Say a lot about Countries	・教科書の単元テーマに関連した質問に対して、1～2 文の英語で伝えることができる。 ・身近な話題について、簡単な英語で 50 語以上話を続けることができる。		予習ノート Evergreen23 全商英検単語表 全商英検問題集
	2 学期	L4 Q & A about Nature L5 Challenge Your Limits! L6 The Wonderful World of Colors L7 Hokulea's Adventure	・教科書の各単元で扱うテーマや人物などについて、70 語程度の説明文・要約文を書くことができる。 ・自分や身近な人の基本情報を簡単な英語で 70 語以上書くことができる。		予習ノート Evergreen23 全商英検単語表 英検問題集
	3 学期	L8 The Secrets of Cup Ramen L9 Rose O' Neill L10 Poteto Stories	・高校1年教科書レベルで150 語程度からなる平易な英文を1～2 回読んで、事前に与えられた質問の答えを正確に見つけ出すことができる。 ・高校1年教科書レベルの英文を見ながらその英文を聞いて、空所に当てはまる語を正確に聞き取ることができる。 ・50 語程度の簡単な説明文・対話文を聞いて、話し手の意図を理解したり話題の内容や話し手の状況を思い描いたりすることができる。		予習ノート Evergreen23 全商英検単語表 全商英検問題集

教 科 保健体育

科 目 保健

授業科目	保健		単位数	1 単位	履修形態	○必修・選択
履修学年	高校 1 年		コース	普通・ICT 全コース		
教科書	最新高等保健体育（大修館書店）			副教材	最新高等保健体育ノート （大修館書店）	
授業概要	今日私達が暮らす社会はとても豊かである。それでも生活習慣病や薬物、また心の問題など健康に関わる問題は少なくない。さらに時代の流れの中で健康自体の捉え方や健康の為に、人や社会に望む事も変化している。そこで健康のあり方等を学習させたい。					
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標			教 材
	1 学 期	現代社会と健康	我国における健康水準・問題を理解させ、健康の成り立ち・保持増進について考えさせる。			健 康 の 捉 え 方 ・ 考 え 方
			各国の水準調査			
			我国や世界の健康の為の活動を知る。			保持増進と疾 病異常
			生活習慣と関連の深い病気を知る。			
	2 学 期	現代社会と健康	喫煙・飲酒・薬物乱用・医薬品と健康について理解させる。			
			感染症・A I D S について理解させ、その予防対策を知る。			
			心と身体に関わりを知る。			精神の発達
			欲求不満と適応機制について理解させる。			
			自己実現のあり方を知る。			
	3 学 期	現代社会と健康	交通事故の現状と要因について知る。			交通安全
			交通社会における運転者の資質と責任を理解させる。保険等の調査 P C 使用			
			安全な交通社会づくりを知る。			
			応急手当の意義と手当の手順を知る。			応急手当
			心肺蘇生法の理解と実習。			心肺蘇生法

教 科 保健体育

科 目 体育

授業科目	体育	単位数	2 単位	履修形態	○必修 ・ 選択
履修学年	高校 1 年	コース	ICT 科		
教科書	なし		副教材	アクティブスポーツ 大修館書店	
授業概要	運動を通して、集団の中で他人への思いやりの心を養うことと、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、体力の向上を図り、生涯スポーツの実現を目指す。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材
	1 学 期	体育理論	スポーツの歴史について理解できるようにする。		
		体ほぐし運動	運動を通して、自己の体に関心を持ち、自分や仲間の状態に気づくことが出来るようにする。		
		新体力テスト	持久走を含む 8 種目 A ランクを目標		
		水泳	水の特性を理解し、自由形・平泳ぎ・背泳ぎの 3 泳法をマスターする。		
		バスケットボール	ネット型の特性を理解し、ドリブル、シュート、パスの正しい技術を身につける。		
	2 学 期	ダンス	表現したい内容が伝わるような動きを工夫したり、呼吸を合わせたり、めりはりをつけて踊ることができるようにする。		
		器械運動	柔軟性を高めていくことを目指す。接転系の技を正しい姿勢でできるようにする。		
		体育理論	スポーツの歴史について理解できるようにする。		
		新体力テスト	持久走を含む 8 種目 A ランクを目標		
	3 学 期	サッカー	ルールを理解し、パスやドリブルの正確な技術を身につける。		
		武道	武道の特性を理解させ、姿勢や組み方を中心に、安全を考えて練習する。		